

閉会の御挨拶

医療法人社団 弘健会 菅原医院院長
昭和55年 順天堂大学医学部卒業
順天堂医院にて内科診療に従事
平成5年から現職。

日本糖尿病協会理事
東京都支部長（東京都糖尿病協会会長）
日本臨床内科医会常任理事、東京内科医会副会長
日本糖尿病療養指導士認定機構委員
東京都糖尿病対策推進会議幹事
日本糖尿病対策推進会議ワーキンググループ委員
（日本医師会）
糖尿病週間 東京2000実行委員長
2001年 日本臨床内科医会学会賞受賞
2006年 日本臨床内科医会学会実行委員長
2008年 第48回 日本糖尿病協会総会・年次集会会長

日本内科学会評議員
日本糖尿病学会学術評議員
日本リウマチ学会評議員

著書：よくわかるメタボリック
シンドローム脱出法（講
談社）、高脂血症（講談
社）ほか。



菅原 正弘

会場の皆様には、最後まで御清聴頂き、ありがとうございました。

御多忙の中、実行委員長をお引き受け下さいました野田光彦先生、第一部で御講演賜りました渡邊昌先生、金澤康徳先生、第二部で御講演賜りました安田和基先生、福岡秀興先生、磯 博康先生、座長の労をおとり頂きました梶尾 裕先生、御共催頂いたニプロ（株）、アステラス製薬（株）に厚く御礼申し上げます。

今回のセミナーのプログラムは、野田先生自ら、「テーマ、演者とも最高のものが出来上がった」とお話されていた通り、内容が濃く、それでいて実に興味深く、私も時間の経つのも忘れて、聞き入ってしまいました。

本日の講演が、皆様の今後の糖尿病療養のお役にたてば、これに過ぎる喜びはございません。本日の講演内容を、是非ご家庭で、職場であるいはご友人と話し合ってください。

最後に糖尿病協会の活動についてお話をさせていただきます。

日本糖尿病協会は1961年創設以来、糖尿病の正しい知識の普及啓発、患者さん、ご家族、さらに予備軍の方のための療養支援、糖尿病に関する調査研究を3本の柱に活動を続けて参りました。糖尿病患者、医師・コメディカルなどの医療スタッフから構成され、全国に1600の友の会があり、10万人に近い会員を擁しています。その活動が認められ、医療面では数少ない特定公益増進法人として厚労省から認可されています。

日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度、歯科医

師登録医制度を設け、患者さんを中心とした糖尿病のネットワークが整ってきています。東京都支部である東京都糖尿病協会では、歩く会、大規模の講演会、東京を6ブロックに分けたブロック糖尿病教室の開催、功績のあった友の会や模範的な患者さんの表彰など独自の活動も展開しています。本年から城西地区を城北・城西地区から分離し、第1回の城西ブロック糖尿病教室が3月14日（土）東京女子医科大学 健保会館で開催されます。昨年1月にホームページが立ち上がり、当会が主催しているイベントは日程、プログラム内容が決まり次第、掲載していきます。昨年創刊しました会報の全文を読むことができます。また、糖尿病診療に積極的に取り組んでいる登録医・療養指導医、歯科医師登録医もこのホームページで検索することができます。ご利用頂ければ幸いです。

（[東京都糖尿病協会](http://www.dm-net.co.jp/tokyo-tounyou/) ）
<http://www.dm-net.co.jp/tokyo-tounyou/>

患者さんが糖尿病協会に入会しますと、協会が発行する療養支援のための月刊誌『糖尿病ライフさかえ』が配布されます。また、協会主催のすべてのイベントに参加できます。その中での、同じ病気を持った多くの方々との出会いを通じ、療養生活が一層楽しく、充実したものになっていくものと確信しています。

本日も来場頂いた方で、まだ入会されておられない方は、是非この機会に入会をお考え頂ければ幸いです。ロビーの受付でご案内いたしておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。会費は月400円位です。

それでは、また来年お会いできるのを楽しみにしています。

平成21年2月1日発行
(社)日本糖尿病協会東京都支部
(東京都糖尿病協会)

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-15-7
キャッスル代々木203

電話・FAX 03-3373-0768